

日本の木造建築を木材と構法から考える

テーマ 地域材と板倉構法

安価で大量生産できる、工業製品のような建物が日本全国あらゆるところで建ち並び、建物と地域や里山との関係がますます気薄になっています。日本には元来1000年を超える木造建築の技術、歴史があり、地域と共に歩んできた経緯がありますが、その伝承の道が無碍に扱われているのが現状です。

今回のテーマである「落とし板壁構法」(板倉構法)は穀物庫、宝物庫をルーツに持ち、現代ではその機能を人間が住まう建物として、快適な空間の実現をめざしたものです。「落とし板壁構法」(板倉構法)は通常の木造住宅と比べ2~3倍の木材を使用します。木材の流通も重要なテーマとなり、地域や里山との関係、環境改善への貢献度は大きいものになります。

世界的に対策が問われる環境問題は私達の身の回りでは「ウッドショック」を機により身近な問題として感じる事になってしまいました。従来の木造建築現場に当たり前のように入搬される木材が「どこから？」を問うチャンスは今なのかもしれません。

木材の流通と構法。そして環境問題にどの様に貢献するべきかを是非皆様と一緒に考える機会にしたいと思い、今回の講演会と見学会を準備しました。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 2022年 10/23 (日)

■ 現場見学会

見学物件1 『Y邸』 (飯田市)

見学物件2 『某邸』 (駒ヶ根市)

10:00~12:30 受付 9:00

定員50名

■ 基調講演

会場 産業振興と人材育成の拠点「エス・ノード」A棟 2階ホール

14:00~17:30 受付13:00



安藤 邦廣 筑波大学名誉教授、里山建築研究所主宰

経歴

1948年 宮城県鳴子町生まれ。(一社)日本板倉建築協会代表理事・(一社)日本茅葺き文化協会代表理事・NPO木の建築フォーラム理事。

主催している「里山建築研究所」では、伝統・現代技術からなる板倉の家づくり他、日本の森林資源の大きな循環の回復を目指した古民家再生や里山保全の活動も展開される。

定員100名



清水 国寿 しみず建築工房主宰

経歴

1958年 長野県真田町生まれ。芝浦工業大学建築学科卒業後、(株)小崎建築設計事務所(株)日本設計 第3建築設計群 主任技師を務められた後、2003年「しみず建築工房」を開設。主に信州を中心に地域の自然材料を使用した建築を多く手掛ける。

講演会参加費

2500 円

■ 申し込み・ご案内

主催 南信州民家の会 共催 伝統木造の会 信州事務局・東海事務局・日本板倉建築協会

応募フォーム … Googleフォーム 又は 別紙記入の上 FAXにてお申し込み下さい。

応募申し込みの後、詳細、現地地図などのご案内を差し上げます。

問い合わせ 南信州民家の会 事務局:株式会社矢沢設計

電話番号 0265-25-2397 Email yazawa-s@fuga.ocn.ne.jp (担当:宮内)



応募Googleフォーム